

第六次千葉県障害者計画 主要施策管理表

平成30年度

主要施策

5 障害のある人の相談支援体制の充実

総合計画から

◇障害のある人の相談支援体制を支援するため、市町村が実施する相談研修会、自立支援協議会等などに対して、アドバイザーを派遣します。

◇総合支援法のサービス等利用計画を作成する相談支援事業者の確保と質の向上を目指し、相談支援専門員の養成に係る各種の研修を行います。

◇地域における相談支援の中核的な役割を担うことが期待される基幹相談支援センターについては、市町村にモデルを示し、その設置促進を支援します。

◇障害のある子どもに係る相談については、手帳や診断名等に関わらず障害の可能性が見込まれる子どものための相談支援体制の充実を図ります。

基本施策

- (1) 地域における相談支援体制の充実
- (2) 地域における相談支援従事者研修の充実
- (3) 障害のある子どもと家族への在宅支援機能の強化

数値目標の評価

(個)

年度	目標数	A	B	C	D	E	その他
30	13	2		1	2		8
31							
32							

主要施策の取組状況等

平成30年度	【取組結果】 (1) 相談支援体制整備のため、相談支援アドバイザーの派遣や市町村への説明会、基幹相談支援センターの連絡会議を開催しました。また、相談支援事業所における他機関との連携が推進されるよう、専門コース別研修において他機関連携をテーマとして実施しました。 ・発達障害のある人の支援のため、千葉県発達障害者支援センター（CAS）を拠点として、市町村・事業所等に対する研修や講師派遣を行うとともに、市町村・事業所等支援、資料機関との連携や困難ケースへの対応を行う「発達障害地域支援マネジャー」の配置について発達障害者支援地域協議会で検討を行いました。 (2) 相談支援専門員等の養成研修において、研修講師等によるワーキングチームを設置し、相談支援専門員が体系的に能力を高められるよう、法定研修のカリキュラムの見直しや専門コース別研修の活用等を検討しました。 (3) 医療的ケア児等への支援を総合調整する医療的ケア児等コーディネーター養成研修を実施しました。また、重症心身障害児者及び医療的ケア児者実態調査を実施し、対象者の数やニーズを把握しました。
平成31年度	(1) 引き続き、相談支援アドバイザーの活用促進による相談支援体制の充実や、基幹相談支援センターの設置に向けた市町村への継続的な働きかけを行うとともに、必要な財政的措置について国に要望します。 ・CASにおいて、人材養成を目的とした研修等を行うとともに、新たに発達障害者地域支援マネジャーを配置し、市町村・事業所の支援・助言を行い、地域支援機能の強化に努めます。 (2) 相談支援専門部会及びワーキングチームを中心に、研修効果のより一層の向上のため検討を進めるとともに、関係機関の連携や介護支援専門員の研修の機会等に配慮した実施形態や受講規模となるよう考慮しながら、国の研修体系見直しを受けた実施体制の検討を順次行います。 (3) 引き続き、医療的ケア児等の支援をコーディネートする人材を養成する研修を実施するとともに、千葉県医療的ケア児等支援地域協議会等において、在宅支援のあり方について検討します。
最終年度の判定	
平成33年度	【第七次計画の方向】

※最終年度の判定：目標数に対するAの割合が7割以上に達した場合＝「進展が図られています。」

「進展が図られています。」に該当する場合を除きA+Bの割合が7割以上に達した場合＝

「概ね進展が図られています。」

「上に記載以外の場合＝「一部の進展にとどまっています。」